

「日々、原価意識の向上に繋げる！」

東亜工機株式会社（光武渉 代表取締役社長・鹿島市・従業員数約 300 名）は、大型船舶のエンジン部品であるシリンダライナを作るものづくり企業で、国内シェア約 75%、世界シェア約 35%を占めるニッチ・トップ企業で、従来から当ポリテクセンター佐賀の在職者セミナーも積極的に利用していただく等、人材育成にも力を入れておられる会社です。



「シリンダライナの大きさ」

当センターが昨年からはじめた生産性向上支援訓練を紹介し、受講された「原価管理とコストダウン」のコースは、社内で課題であった現場の社員同士が日常のコミュニケーションの中で、数値で定量的に原価意識を交換できるような環境が作り出せないか？との疑問を解消するような内容となりました。

講師は、県内で活躍されている佐賀県中小企業診断協会の副会長でもある川原明実氏を招き、事前に研修内容のカスタマイズが行われ、自社製品の原価を導き出す手法などを具体的に取り入れた、より現場感覚に則したカリキュラムが準備されました。



佐賀県中小企業診断協会（川原 講師）による訓練

受講対象者は、原価管理に関わる現場の鑄造、工作、経理、営業担当部の各ラインから選抜された明日を担う中堅社員で構成されました。4 日間に渡り延べ 12 時間の研修を受講した方からは、「日頃コスト感覚を社内です量的に話をする機会がなかったのも、今後の取組みに生かせる」、「加工工程毎に発生するコストを算出しグラフ化したことでコストの見える化が出来、原価対策を講じやすい」などの感想を、また、鶴田総務部長からは、「現場社員の原価意識の向上に役立った」「過去の研修より受講者の満足度が高かった」などの評価をいただきました。

同社では、引き続き生産性の向上につながる人材育成策の一つとして「生産・業務プロセスの改善」の分野での受講を予定されています。生産性向上支援訓練は、課題解決につながる研修内容のカスタマイズ、レベル調整など、講師を含めて事前打ち合わせが出来ることは、この訓練の大きなメリットだと改めて感じています。